

前回三者協議で出た意見・アイデア			行政及び奈良交通の回答 (取組状況、実施可能なこと、実施困難なこと等)
テーマ	分類	住民からの意見・アイデア	
乗ってみる方法を考える	スマホを活用した利用者数の周知	・スマホアプリ等での利用者数増減の周知	【奈良交通】 ・ＩＣカードデータの提供が可能（毎月）。 【生駒市】 ・ＩＣカードデータより、ひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線の利用状況を、市のＨＰや公式ＳＮＳで発信可能。
	地域のイベントでの活用	・老人会のイベントでのバス利用の促進を実施中 ・老人会でのバス利用の継続的ＰＲを実施中	※各地域や団体で実施中のため、回答はなし。
	バス案内等の効果的な配布方法	・自治会の回覧物が多いので、見てもらえるように配布方法の工夫が必要	【生駒市】 ・いこまちに、自治会のチラシを挟みこむことは難しい。
		・あすか野自治会で配布のバス・鉄道の乗継案内を、沿線自治会へ全戸配布	※各地域や団体で実施中のため、回答はなし。
		・地域活動が盛んな団体（例、老人会）の代表者に三者協議に参加してもらい、連携して周知	【生駒市】 ・自治会以外の団体は把握しきれていないので、地域で声掛けをお願いしたい。
	バス運賃１００円ＤＡＹのＰＲ強化	・市や奈良交通によるＰＲ（特に事前告知）を強化	【生駒市】 ・市のＳＮＳや協力いただくイベント会社ＨＰで広報済。 【奈良交通】 ・チラシの車内配架は実施中。 ・チラシ配布や声掛けは実施済。 ・ＳＮＳでの周知やＨＰへの掲載は可能。
		・連携イベントと併せたＰＲ	【生駒市】 ・今年度のバス運賃無料ＤＡＹでイベント（らまつり、くらしのブンカサイ）と連携予定。
		・バス車両を活用したＰＲ（ラッピングバス、マグネット、バスマスク）の実施	【奈良交通】 ・費用面や安全面からバスマスクが最も実現可能性高い（約１４万円／４本）。 ・ラッピングは高額なため実現困難（約１３２万円）。 ・マグネットは安全面から実現困難。
		・車内モニターを活用したＰＲの実施	【奈良交通】 ・車内モニター活用は費用面で実現困難（約６万円／月）。 ・ポスター等は提供いただけたら車内掲載が可能。
	ふるさと納税等の活用	・広告費の確保に、ふるさと納税の公共交通枠やクラウドファンディングを活用	【奈良交通】 ・個別でなく、地域等で取りまとめた上での寄付であれば、寄付の受付が可能。 【生駒市】 ・市の事業であれば、ふるさと納税を活用可能。 ・自治体または許可された団体が主体となる「ふるさと納税型クラウドファンディング」も勉強中である（生駒市が主体となる場合は、実施の妥当性がないと実施不可）。
交通事業者との連携、今後の地域交通のあり方の検討	日常利用の促進	・イベント時の単発利用よりも日常利用が重要 ・沿線の目的地（例、子どもの塾や病院）を発信 ・バスの運行自体を知らない人が多い	【生駒市】 ・Ｒ７年１０月以降、公共交通マップ配布予定。
	高齢者の外出促進	・奈良市のななまるカード（高齢者は市内１乗車１００円）のように、高齢者の外出促進	【生駒市】 ・高齢者の外出支援として、「生きいきクーポン券」（１人あたり１万円）を毎年配布中であり、ＣＩ－ＣＡ、ゴールドバスへのチャージにも利用可能。
		・沿線の病院マップ作成や病院ツアーの企画	【生駒市】 ・沿線の病院マップ作成のサポート可能（印刷費等）
	ＱＲコードの案内不足	・奈良交通の時刻表内に掲載のＱＲコードが何の案内か明示	【奈良交通】 ・ＱＲコードは、各停留所に既に大きくして掲出中。誘導文を追加するスペースには限りがある。 ・時刻表内のＱＲコードの配置や大きさに関する変更は奈良交通のシステム的に修正が難しい。
	便数への提案	・２０分間隔であれば、ダイヤを気にせず、買物や通院等に気軽に利用できる ・便数に対する不満はあるが、奈良交通も営利企業であるため、ジレンマがある	【奈良交通】 ・乗務員不足が深刻な中で利用状況に合わせた便数を設定しており、バス１台を増やすのに約１，０００万円が必要なため、実現困難である。
	運賃施策のアイデア	・熊本県の「渋滞なくそう！半額バス」のような運賃割引を、生駒市でも実験的にできないか	【生駒市】 ・全市的な運賃割引イベント（バス運賃無料DAY等）を長期間実施することは費用的に難しい。（１日200万以上の負担発生） ・短区間利用に対する割引適用は市内の運賃支払方法的に実現困難、また差額を行政が負担する場合、公平性の観点から特定区間のみのでの実施は難しい。 ・秋の台地区のコミバス運賃１００円DAYのように、地元負担であれば可能。 【奈良交通】 ・費用面での補償が必要であるため、誰が補償するのかを考える必要がある。
		・短区間利用を促進する割引施策（例、１バス停間 運賃１００円）を実施	
	今後の地域交通のあり方	・地域住民が公共交通に対する問題意識を持つ	【生駒市】 ・地域の集まりに参加して、利用呼びかけを継続実施中。 ・小中学校で公共交通を考える出前授業を実施中。
		・タクシーを呼んでも、特に朝はすぐ来れない場合が多いので、病院など目的地へは直通バスが有難い ・バスとタクシーを併せて議論する必要	